

# イスラムってなんだ？

作：伊藤育雄

【問題1】 アラビア数字は、どれですか？

(ア) 一・二・三・四・五・六・七・八・九・十

(イ) I・II・III・IV・V・VI・VII・VIII・IX・X

(ウ) 0・1・2・3・4・5・6・7・8・9

(エ) mono. di. tri. tetra. penta. hexa. hepta. octa. nona. deca

【答え】 (ウ)です。(ア)は漢数字で、たて書きの文章に使いますね。(イ)はローマ数字で、時計によく使われます。(エ)はギリシア数字です。

アラビア数字は、もともとインドで考え出されました。「0＝何もない」という数字は、漢数字・ギリシア数字・ローマ数字にはないものでした。十を十の位に1と一の位に0と表す十進法は、計算をするのにとっても便利な方法です。アラビアに伝わったインド数学はさらに発達し、ヨーロッパにも広がり、今ではアラビア数字は世界共通の数字になっています。

※ $\alpha$  (アルファ)  $\beta$  (ベータ)  $\gamma$  (ガンマ)  $\delta$  (デルタ) … → ギリシア文字

【問題2】 『アラビアン＝ナイト』(千夜一夜物語)という物語を知っていますか？ 次の話の中で、『アラビアン＝ナイト』に入っている話はどれですか？ (いくつ○をつけてもよい。)

- (ア) アリババと40人の盗賊
- (イ) アラジンと魔法のランプ
- (ウ) シンドバッドの冒険



【答え】 すべて、『アラビアン＝ナイト』に入っている話です。

ササン朝ペルシアのシャフリヤール王に、大臣の娘シャハラザードが、千一夜にわたって楽しい話を聞かせました。それらの物語をもとにして集めたのが『アラビアン＝ナイト』（『千夜一夜物語』）です。

### ・アリババと40人の盗賊

ペルシアのある町に、アリババとカシムという兄弟がいた。アリババは貧しいながらもまじめな男。カシムは欲が深い兄だった。あるとき、アリババは盗賊のすみかを見つけた。盗賊のかしらのまねをして、「ひらけゴマ！」と呪文をとこなえと、入口がぽっかり開いた。アリババは、金・銀・宝を家に持ち帰った。その話を聞いた兄のカシムも呪文を聞き出し、こっそりすみかに行った。ところが、出るときの呪文をすっかり忘れ、カシムは帰ってきた盗賊たちに殺されてしまった…。

### ・アラジンと魔法のランプ

アラジンは、とんでもないグータラで、父親が死んでからというもの、悪友と遊んでばかりで母親を悲しませていた。ある日、アラジンの前におじさんだという男(実は魔法使い)があらわれた。男はお守りだと言って指輪を与え、ほら穴にかくされたランプを取ってくるよう言いつけた。穴を出る前にランプをわたせという男の言いつけをきかなかったアラジンは、ほら穴に閉じ込められてしまった。思わず両手を合わせて、アラジンはアラーに祈った。そのとき、指輪がこすられると、ものすごいノッポの魔王がむくむくと姿をあらわした…。

### ・シンドバットの冒険

冒険にでようと思いついたシンドバットは、財産をまとめて船にのせて旅立った。緑ゆたかな島にと降り立つが、そこは大きな鯨の背中であった。鯨は海中に沈んでしまう。何とか脱出した船長は船に帆をかけて行ってしまい、ひとりだけ助かったシンドバットは、ある島をみつけて上陸する。その島の王に気に入られ、港湾隊長に命じられる。ある日港に入った船は、シンドバットが乗っていた船で、財産もそのままだった。シンドバットは王に帰ることを願い許しを得て、港湾隊長として築いた財産とともに、バクダードへ持ち帰った。(第1の航海) ※第7の航海までである。

【問題3】 イスラムということばを聞いたことがありますか？ イスラムのあとに続く言葉を書きましょう。

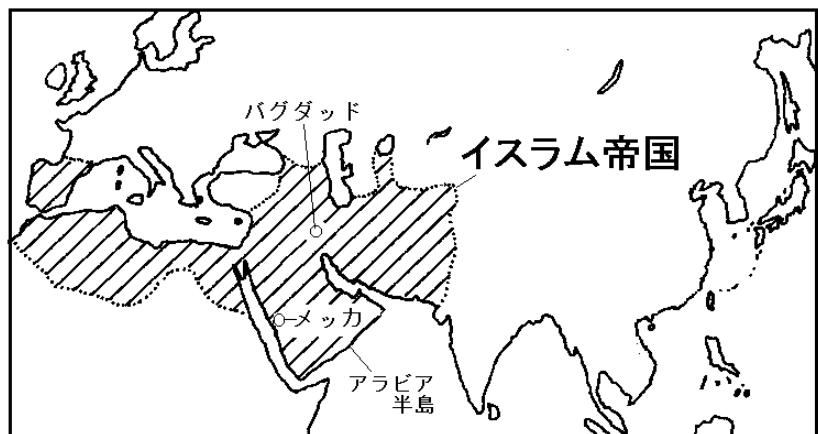
イスラム

【答え】 イスラム教・イスラム帝国・イスラム文化などがあります。

7世紀の初め、アラビア半島にあるメッカは商業がさかんな町で、そこに、ムハンマドという商人が住んでいました。ムハンマドは、ただ一つの神・アラーの前では、すべての人は平等であり、この神の教えをしっかりと守って生きるべきだという考えを人々に広めました。これがイスラム教です。(今では、仏教・キリスト教とならんで、世界三大宗教の一つです。)

ムハンマドは軍隊を使いながらイスラム教を広め、アラビア半島を支配しました。ムハンマドが死んだ後も、領土を広げ、広大なイスラム帝国となりました。9世紀になると、首都バグダッドの人口は150万人になり、世界最大でした。

このイスラム帝国では、数学(アラビア数字)や文学(『アラビアンナイト』)・医学など、すぐれた文化がありました。これがイスラム文化です。イスラム文化は、それまでのギリシア・ローマやインドの文化をとり入れ、その当時、世界の中でも高いレベルをほこっていました。



【問題4】 イスラム教には、きびしい教えがあります。その一つに、ある肉は食べてはいけないことになっています。何肉でしょうか？

- |         |          |
|---------|----------|
| (ア) 牛肉  | (イ) とり肉  |
| (ウ) ぶた肉 | (エ) ひつじ肉 |

【答え】 (ウ)のぶた肉です。イスラム教の信者は、「コーラン」(アラーがムハンマドに語りかけた言葉をまとめたもの)の教えどおりに生活しなければなりません。その「コーラン」に、ぶた肉は口にしてはいけないもの(「ハラム」と書かれています。ぶた肉は不浄なもの(きれいでない)と考えられているのです。

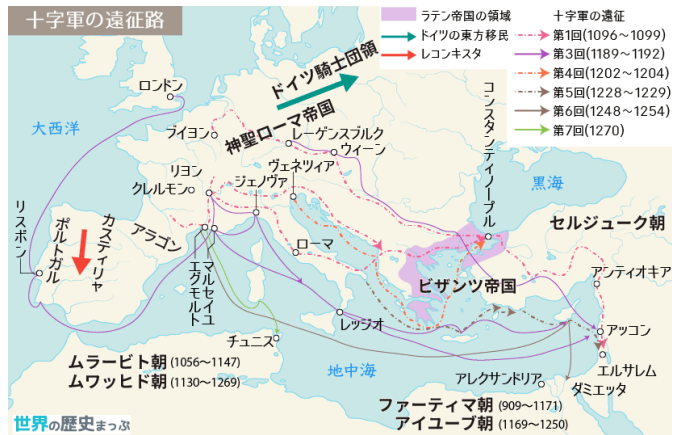
そのほかにも、一日に5回のお祈り・ひと月間の断食(「ラマダン」といい、日中は飲食できない。)・貧しい人への恵みなどをしなければなりません。

※インドのヒンドゥー教では、牛は神聖なものとされ、牛肉は一切食べてはいけないことになっています。インドで「ビーフカレー」は存在しません。また、仏教でも、4本足の動物の肉は食べてはいけないことになっていて、日本でも、仏教が伝わってから江戸時代までは、牛肉やぶた肉は食べていませんでした。

【問題5】 11世紀、イスラム教の国・セルジューク＝トルコがエルサレムを占領しました。セルジューク＝トルコからエルサレムをうばい返そうと、11世紀から13世紀にかけて、ヨーロッパから十字軍という軍隊が7回も出動しました。十字軍とは、どんな軍隊だと思いますか？

- (ア) 十字の形をした武器を使う軍隊
- (イ) けがや病気の人を助ける赤十字の軍隊
- (ウ) キリスト教を支援する軍隊
- (エ) 出発がいつも午前十時の軍隊

【答え】 (ウ)です。エルサレムはキリスト教の聖地(キリスト教が生まれた場所)で、キリスト教信者がお祈りにおとずれる所でした。イスラム教の国・セルジューク＝トルコがエルサレムを占領したため、キリスト教の信者がエルサレムに行けなくなりました。そこで、フランス・ドイツ・イギリスの王に、エルサレムをうばい返せと、ローマ教皇(キリスト教・カトリックのトップ)が命じたのでした。結果は7回とも失敗に終わりましたが、ヨーロッパにイスラム文化が伝わりました。のちに、ヨーロッパにすぐれた文化(ルネサンス)が生まれるきっかけになったのです。



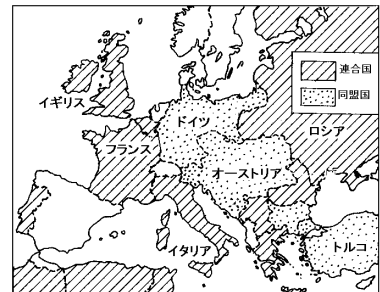
【問題6】 1914年に始まった第一次世界大戦を知っていますか？ それぞれの国が自分の国の領土を広げようと対立し、戦争となりました。兵器として戦車や潜水艦が登場し、約900万人もの命が失われました。

- 連合国側 —
- ・イギリス ・ロシア
  - ・フランス ・ギリシア
  - ・セルビア ・日本
  - ・イタリア ・アメリカ

V  
S

- 同盟国側 —
- ・ドイツ
  - ・オーストリア
  - ・トルコ
  - ・ブルガリア

第一次世界大戦 連合国と同盟国



この戦争は連合国側が勝利しました。このとき、イギリスは、戦争に協力させるために、いろいろな約束をしました。さて、イギリスの約束とは、どれですか？ (いくつ○をつけてもよい。)

- (ア) インド人に、協力したらインドを独立国にする約束。
- (イ) アラブ人に、協力したらパレスチナ地方をふくむ地域にアラブ王国の独立をみとめる約束。
- (ウ) ユダヤ人に、協力したらエルサレムがあるパレスチナ地方にユダヤ人の国をつくる約束。

【答え】 すべて○です。そして、どれも約束が守られませんでした。

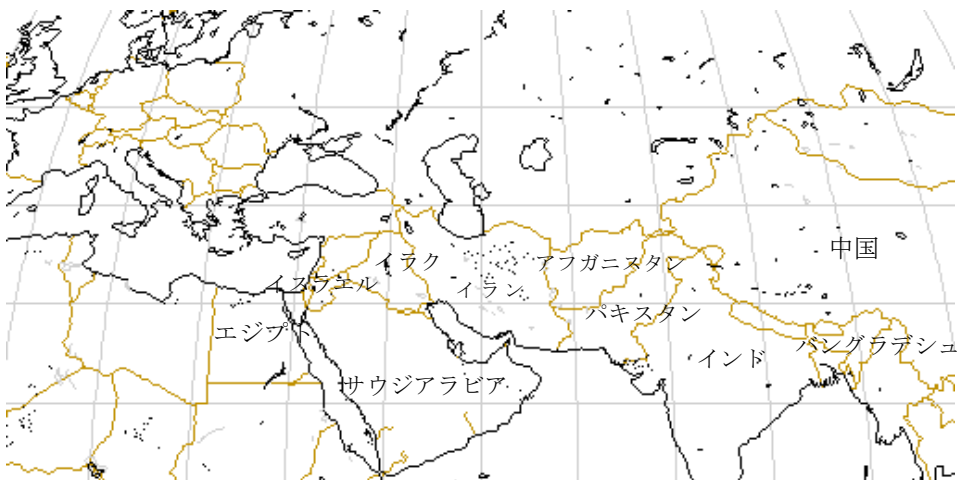
(ア) のインドは、第二次世界大戦後に、ガンディを中心とした独立運動がおきて、やっと独立することができました。

(イ) と (ウ) が問題です。エルサレムをふくむパレスチナ地方には、もともとキリスト教信者の多いユダヤ人がいました。2世紀、当時キリスト教を禁止していたローマ帝国がユダヤ人を追い出し、その後のパレスチナ地方にイスラム教信者の多いアラブ人が住みました。

イギリスの (イ) と (ウ) の約束は同じ場所なので、どちらかを無視しないといけないものでした。1947年、国際連合によりパレスチナ地方を分ける案が出されましたが、アラブ側は拒否しました。1948年、ユダヤ人の国としてイスラエルが独立を強行したため、イスラエルとレバノン・ヨルダン・イラク・エジプトとの間で、第一次中東戦争がおきました。その後も、中東戦争が第四次までおき、ユダヤ人とアラブ人との対立が続いています。イスラエルへの支援をアメリカが続けているため、ユダヤ人対アラブ人の対立から、さらにアメリカ対アラブ人、キリスト教対イスラム教過激派の対立に発展してきています。

そんななか、2001年9月、アメリカ同時多発テロ事件がおきました。アメリカは、その犯人をイスラム教過激派の組織・アルカイダとしました。そして、アルカイダと関係の深いタリバン政権が支配しているアフガニスタン空爆し、タリバン政権を倒しました。このとき、日本政府は、アメリカの軍艦にインド洋で自衛隊が給油するという支援活動を行いました。その後、アフガニスタン国内の政治の不安定な状態が続くなか、2021年、アフガニスタンからアメリカ軍が撤退し、タリバン政権が復活しました。

さらにアメリカは、イラクが核兵器や化学・細菌兵器などの大量破壊兵器を持っているとし、2003年にイラクを攻撃し、フセイン政権を倒しました。2011年、アメリカ軍がイラクから撤退し、イラク戦争が終わりました。



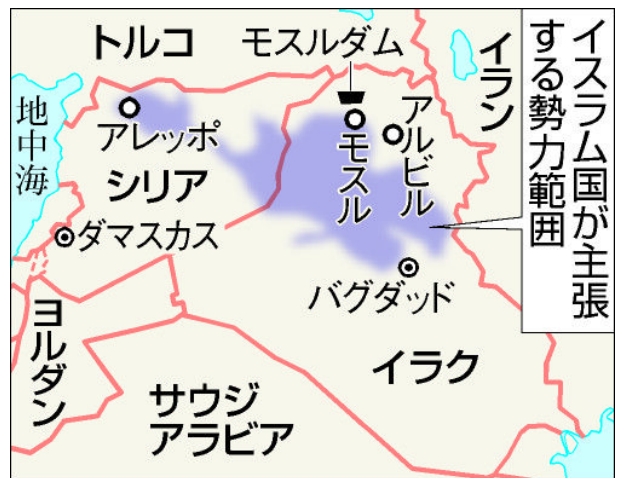
アメリカ同時多発テロ  
四機の航空機が乗っ取られ、ビルに突入したり、墜落した事件。犠牲者は三千人を超える。



【問題7】「イスラム国」って何ですか？

- (ア) イスラム国という国
- (イ) イスラム国というイスラム教を学ぶ組織
- (ウ) イスラム国というイスラム教過激派組織
- (エ) イスラム国というイラクにあるレジャーランド

<ヒント>





【答え】(ウ)です。2001年9月の米同時多発テロの犯人は、イスラム教過激派の国際テロ組織のアルカイダでした。(テロとは、殺人という方法で政治的な反対をしめすことです。)アルカイダはサウジアラビア人のビンラディンによって結成されたグループです。2011年、パキスタンにおいて、アメリカ軍の攻撃によって、ビンラディンは殺されました。現在は、エジプト人のザワヒリがアルカイダの最高指導者になっています。

答えの「イスラム国」は、そのアルカイダに関係した過激派勢力が集まって、2006年に結成されました。グループには若い人が多く、アルカイダとは別行動をとっています。アメリカによって政権が倒されたイラクや内戦中のシリアは国の力が弱いので、「イスラム国」が入り込んできました。指導者アブバクル・バグダディはカリフ(ムハンマドの後継者)を名乗り、「イスラム国家」の成立を一方的に宣言し、シリア北部ラッカを「首都」としました。「イスラム国」は「国家」ではありませんが、各国にいる若者のイスラム教徒を「戦士」としてやとい、一つの国のように活動してきました。

これに対して、2017年に「イスラム国」のイラク最大拠点モスルをイラク政府軍が奪い返し、「首都」ラッカもシリア軍が制圧しました。

【問題8】 次の語句を使って、実際にあった出来事の説明文を作りましょう。

- ・ 2014年      ・ シリア
- ・ 後藤さん(後藤健二さん・ジャーナリスト)
- ・ 湯川さん(湯川遥菜さん・民間軍事会社員)
- ・ 「イスラム国」      ・ 人質

【答え】2014年シリアに入った湯川さんと後藤さんは「イスラム国」の人質となり、その後、殺されてしまいました。

2014年8月、湯川さんが「イスラム国」の人質となり、10月には、湯川さんを助けにいった後藤さんも人質になりました。(写真)



2015年1月、エジプトで、中東地域の国々に「イスラム国」対策として2億ドル(約200億円)の支援を行うと、安倍首相は演説をしました。すると、「イスラム国」は日本政府に2億ドルの身代金を要求し、支払いがなければ二人を殺害すると宣言しました。これに対して、日本政府は身代金要求には一切応じないという立場をとりました。

「イスラム国」は日本政府からの身代金の支払いがなかったことで、数日後、湯川遥菜さんの遺体写真を後藤健二さんに持たせた動画をユーチューブにアップしました。そこでは、今度は身代金ではなく、ヨルダンでの爆弾テロ事件の犯人(サジダ・リシャウィ)を釈放すれば、後藤さんを解放するという要求になっていました。釈放や解放の動きのないまま、2月に入り、ユーチューブに後藤さんの遺体がアップされました。

2016年7月1日、バングラデシュの首都ダッカで、7人の若者がレストランをおそい、警官隊と銃の撃ち合いとなりました。彼らは外国人客らを人質にとって店内に立てこもりましたが、治安部隊が突入し制圧されました。その結果、民間人20人・警察官2人・犯人6人が死亡しました。その死亡した民間人のなかに、男性5人・女性2人計7人の日本人がふくまれていることがわかりました。テロを行った犯人たちは「イスラム国」の影響を受けたイスラム教過激派ということです。

今までは、日本とイスラム教過激派との間では、このような問題はありませんでした。日本人も過激派から「敵」(「十字軍」と見なされるようになってきました。このままでよいのでしょうか。日本の外交を見直すことが必要ではないのでしょうか。

※2015年に、シリアの武装組織の人質となったジャーナリスト安田純平さんは、2018年解放されました。